



障サ協
広報紙

山口県障害福祉 サービス協議会通信

発行：山口県障害福祉サービス協議会 広報委員会 〒753-0072 山口市大手町9番6号
電話：083-924-2799 FAX：083-924-2798 メール：syougai@yg-you-i-net.or.jp

【活動目標】支援現場での三障害一元化を目指し、障害者の存在それ自体を我が事とする価値観をもって、諸事業に真摯に取り組みます

会員事業所紹介（第11回）

よつばホーム（共同生活援助事業）

温かな雰囲気「家」を目指して

広報委員が会員事業所を訪問し、支援現場の雰囲気に触れながら、職員や利用者との関わり、事業所の特色やアピール点、課題や悩み等についてお聞きする会員事業所紹介です。

今回は、防府市にある社会福祉法人蓬菜会「よつばホーム」をご紹介します。管理者の今元雅浩さんにお話を聞かせて頂きました。

1. 開所の経緯と現在の利用状況をお聞かせください

今元：開設した平成21年当時、防府市内の障害者グループホームは、他法人運営の1事業所のみ。他市と比較して圧倒的に

グループホームが少ないという課題がありました。法人施設の利用者や家族からの要望も多く、特に

入所施設の自閉症の利用者家族からは、少人数で静かな生活環境を望む声もあり、そういったニ

ズを踏まえて、平成21年11月1日に定員4名のグループホーム「よつばホーム」の開設に至りました。

その後、少しずつ住居や定員を増やし、現在はよつばホームA（男性7名）、よつばホームB（男性4名）、よつばホームC（男性5名）、よつばホームD（男性3名）、よつばホーム桜A（女性5名）、よつばホーム桜B（女性5名）の6か所定員合計29名のグループホームとして運営し、10月7日（取材日）時点では満床です。職員（世話人）配置も4対1で、手厚い配置にしています。

2. 利用者の特性に応じた配慮や工夫がありましたら教えてください

今元：法人の母体施設「ゆうあい」が知的障害者施設としてスタートしており、知的障害や発達障害の利用者が多くを占

めています。自閉症や発達障害の方には視覚的支援を取り入れたり、静かな環境で生活出来るよう角部屋にさせて頂いたり。平成29年に新築移転したホームA棟は、設計に職員の意見を取り入れ、利用者同士の接触を減らせる間取りや動線を考えた造りで、落ち着いて生活できる環境づくりに配慮しています。



よつばホーム BC棟

ること、特に意識していることは何ですか

今元：グループホームは事業所ですが、利用者にとっては「家」なので、アットホームな温かい雰囲気を目指すことを大切にしています。食事も職員が調理して提供し、家庭的な雰囲気づくりに努めています。職員によって味に若干の差が出て、利用者から意見をいただくこともあります。

しかし、共同生活のルール作りや個別支援に注力するあまりに、アットホームな雰囲気が崩れ、ご家族からの指摘でハッと気づかされることも。日々、自分や家族の住まいだとしてたらと職員に意識づけして支援につなげています。

4. 地域と事業所とのかわりがありましたら、教えてください

共同生活での利用者同士のトラブルは、居室でクールダウンを促し、折を見て振り返りを行い、落ち着いて頂くように対処しています。

夜間帯も夜勤者を配置しており、昼夜を通じた支援体制を築いています。夜間の巡回時は安否確認や居室の温度管理を行い、何かあれば迅速に対応できる連絡・応援体制も整っています。

3. 支援で大切にしていること



よつばホーム 桜棟

よつばホーム A棟

よつばホーム

設置法人：社会福祉法人蓬菜会

実施事業：共同生活援助

管理者：今元雅浩

〒747-0025 防府市美和町4-24

TEL 0835-21-7901 FAX 0835-21-7901